

令和年	月	定例臨時の	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合 その処理状況
3	3	定例	文教生活常任委員会	企画経営部	政策推進課	北野議員	公募にしている共同利用施設売布会館の指定管理者の選定について、選定方法に疑問がある。	非公募とし、地域の団体に限定して応募できるようにしているが、複数の団体から応募があった場合は競争となり、地域にある団体同士であるがために問題となった。制度の見直しを検討する。	答弁に同じ。	未済	検討していく。
3	3	定例	総務常任委員会	企画経営部	財政課	梶川議員	広報3月号で財政についておおむね良好との表現があるが、市民に財政状況が厳しいことをわかってもらえないといけない。	健全化法に定める比率はいずれも基準内であるので概ね良好とした。一方、公債費、資産の老朽への対応などの課題を示して今後の状況が厳しいことを説明している。いただいた意見については第2弾の広報記事において留意して掲載する。	答弁に同じ。	未済	意見を踏まえ広報記事の第2弾において対応する。
3	3	定例	総務常任委員会	企画経営部	財政課	北山議員	広報3月号で財政についておおむね良好との表現があるが、健全化判断比率が基準を超えているのは夕張市のみである。経常収支比率が悪いことなど市民に財政状況が厳しいことを説明すべきである。また、行財政経営戦略本部のことも伝えるべきである。	健全化法に定める比率はいずれも基準内であるので概ね良好とした。一方、公債費、資産の老朽への対応などの課題を示して今後の状況が厳しいことを説明している。いただいた意見については第2弾の広報記事において留意して掲載する。	答弁に同じ。	未済	意見を踏まえ広報記事の第2弾において対応する。
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	教育企画課	たぶち議員	玉瀬地域からバス通学の要望が出ている。基準はあるものの地域性を考慮し、西谷地域全体の課題として考えてほしい。	国の補助基準を適用し、通学距離が小学生で4キロ以上、中学生で6キロ以上の遠距離通学となる場合を対象に通学に要する費用を補助している。 公平性の観点や財政状況等から考えると現行基準を緩和することは現時点では難しい。	答弁に同じ。	未済	今後の西谷地域の公共交通を検討していく中で通学バスのあり方を研究していく。
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	職員課	藤岡議員	学校運営を巡る諸課題の取組で、人事異動については実効性を持って取り組んでほしい。	異動方針に基づく適正な人事異動を進める。	答弁に同じ。	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	職員課	藤岡議員	教頭の固定の授業時間の廃止については、教員が校務分掌を担うことで管理職の負担が変わらないように実態把握に努めるなどしっかりと進めてほしい。	管理職の負担が増えないように、来年度から廃止する。	答弁に同じ。	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	施設課	北野議員	学校のバリアフリー化を推進すべきである。	障害のある児童が入ってきた場合、防音壁の整備等、学校からの意見に基づき個別に対応している。	車椅子で移動できない範囲のある学校へのエレベーター追加整備を検討している。	未済	エレベーターの追加整備について、引き続き検討していく。

令和年	月	定例臨時の	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合 その処理状況
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	施設課	北野議員	学校トイレ洋式化率について、100%を目指すべきである。	答弁不要(意見のみ)。	洋式便座に直接触れることに抵抗を感じる児童生徒がいることから、各校のトイレ洋式化工事実施前に、和式整備数について協議を行っており、最終的な洋式化率は90%程度となる見込み。	未済	トイレ洋式化事業は令和7年度末完了予定。
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	川口議員	ひとり親家庭等大学生等奨学金給付金について、不認定者に他の制度を案内するなど丁寧な対応をしてほしい。 対象者をひとり親に絞るべきではないと思うので、今後研究を進めてほしい。	答弁不要。	不認定者に対しては国県等の奨学金制度の案内を行う。 対象者の拡充については、市民福祉金のひとり親家庭給付金の廃止に伴う代替措置であるため、困難である。	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	川口議員	健康診断は非常に重要である。不登校で学校に來れていない児童生徒に対して機会を設けるなど、柔軟な対応をお願いする。 ネグレクトやICT推進に伴う健康被害などに対応するため、学校と学校医が連携して子どもの健康観察をしてほしい。	不登校の児童生徒に対して柔軟に対応していけるよう検討する。	不登校の児童生徒については関係課と連携を取りながら対応していく。 今後も学校と学校医とで連携を取り合い、児童生徒の健康管理に努める。	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	大島議員	公立幼稚園の通園に関して駐車場の整備が必要である。工夫次第で財政負担なくできることもあるので、統廃合までに検討を進めてほしい。	通園手段は徒歩を原則としており、現在の財政状況からも駐車場を整備することは困難である。	答弁に同じ	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	北野議員	夜間中学校について就学の機会確保のため、あらゆる手段で情報発信を行ってほしい。	広報たからづかやホームページ、県が作成するパンフレットやポスターも活用しながら、引き続き情報発信を行っていく。	答弁に同じ	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	三宅議員	教育環境審議会で議論される内容は市民も関心が高いため、答申とともに審議会で議論された意見等も公開してほしい。 審議会からの答申を教育委員会としてしっかりと議論し、方向性を決定してほしい。	答弁不要。	審議会からの答申を受け、教育委員会として通学区域の整合と小中一貫教育についての方向性を決定する。	未済	令和3年度末までに検討予定。
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学事課	風早議員	中山台地区における学校統合について、令和4年の開校記念式典の実施など、よりよい学校づくり、まちづくりを目指して協議を進めてほしい。	学校統合については学校統合準備会で協議を進めていく。開校記念式典は学校統合準備会の総務部会の中に実行委員会を設置して協議を進める。	答弁に同じ。	済	
3	3	定例	予算特別委員会	管理部	学校給食課	北野議員	給食のアレルギー対応について、牛乳だけ飲める児童がいるが、牛乳の飲用停止の取り扱いが難しい。 牛乳のみの提供はできないのか。	学校給食におけるアレルギー対応について、令和2年度時から全校統一の対応に改定したところである。 引き続きより良い対応とするため、牛乳のみの提供等についても検討していく。	令和3年度より従前からの除去食等の対応に加え、飲用牛乳又は主食のみの提供も行う。	済	

令和年	月	定例臨時の	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明・課題、問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合 その処理状況
3	3	定例	予算特別	学校教育部	学校教育課	浅谷・大島・となき・北野議員	スクールソーシャルワーカー(SSW)の増員・勤務日数及び時間の拡充を求める。	答弁不要(意見を述べるにとどまる)。	現在、8名のSSWをケースの多い学校に優先的に配置しているが、今の体制で十分対応できているとは言えない現状である。	未済	令和4年度の当初予算編成時までに関係課(財政課と人材育成課)と調整する。
3	3	定例	予算特別	学校教育部	学校教育課	浅谷・藤岡議員	コミュニティ・スクールの委員に有識者を追加してもらいたい。また、国が推進しているコミュニティ・スクールに沿った要綱も策定してもらいたい。	委員に有識者を入れるとなると、予算措置が必要となる。そして、要綱に有識者を委員に加えるとなると、有識者が見つからなかった場合に会を開くこと自体が難しくなるため、スポット的に委員を呼べるような形にし、まずは宝塚コミュニティ・スクールの全校実施を目指していきたい。	有識者を委員に加えるとなると、無償とはいかず、支払う報酬の予算措置が課題となる。	未済	まずは、宝塚コミュニティ・スクールの全校導入に向けて取り組む(令和4年度中に完了予定)。
3	3	定例	総務常任	学校教育部	教育研究課	梶川議員	GIGAスクール構想の取組は西宮市に比べて遅れているようだが、できるだけスムーズに進めてほしい。	答弁不要(意見を述べるにとどまる)。	現在、各学校を訪問してタブレット端末の導入研修会を行っている。その他にも動画教材を作成して教員のICT活用能力向上に努めている。タブレット端末の利用ガイドも作成中で、令和3年4月の端末配布時には児童生徒に配布する。	未済	令和3年4月中旬から全児童・生徒に端末を配布する。
3	3	定例	総務常任	学校教育部	教育研究課	となき議員	GIGAスクール構想のスタートに向けて保護者にもできるだけ情報提供をして欲しい。教員についてもGIGAスクール構想の取組についてしっかりと理解させて進めてほしい。	答弁不要(意見を述べるにとどまる)。	令和3年4月にタブレット端末利用ガイドブックを配布することで保護者にもGIGAスクール構想の取組について理解を得るようにするが、その他にも情報提供ができるように努めていく。 ＜参考＞教員向けには「Kawara 版 Takarazuka GIGA-School Report」として情報提供をしている。保護者向けにも1月に案内チラシを配布している。	未済	令和3年4月中旬から全児童・生徒に端末を配布する。
3	3	定例	予算特別委員会	学校教育部	教育研究課	川口議員	GIGAスクール構想の取組がスタートするが、3年かけて、次期の端末更新時のことも視野に入れ、保護者に一人一台のPC整備の必要性を理解してもらえるように取組みを進めて欲しい。 各校で短時間でも研修を繰り返し行い、個別最適化された学びと教職員の働き方改革に繋がるように研究を行ってほしい。	答弁不要(意見を述べるにとどまる)。	GIGAスクール構想の取組を導入期・展開期・充実期のように計画的に推進し、端末の整備の必要性を保護者に理解していただけるように努めていく。 研修については、各校で適宜活用できるように動画などの資料を作成し提供している。引き続き、資料を提供していく。	未済	一人一台のPC整備の必要性を理解してもらえる取組は、令和5年度末まで継続していく。

令和3年(2021年)

3月 市議会要望等事項

令和年	月	定例臨時の	議会の種別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理状況	未済の場合 その処理状況
3	3	定例	予算特別委員会	学校教育部	教育研究課	浅谷議員	GIGAスクール構想の取組についての理解で、教職員の温度差が無いようにして欲しい。 GIGAスクール活用計画(仮)の早期の策定に努めて欲しい。	答弁不要(意見を述べるにとどまる)。	GIGAスクール構想の取組の周知(KAWARA版を全教員が読むように)については、校長会にて再度徹底する。 GIGAスクール活用計画(仮)の策定についても、早期策定に努めていく。	未済	GIGAスクール構想の取組の周知は、令和3年3月11日の校長会にて行った。 GIGAスクール活用計画の策定は令和3年6月中に完了させる。
3	3	定例	予算特別委員会	学校教育部	教育研究課	三宅議員	ICTが苦手な教員は学校で研修をするのではなく、苦手な者を集めて教育総合センターで研修するなど工夫が必要。 GIGAスクール活用計画(仮)の早期策定に努めて欲しい。 GIGAスクール構想の取組が市民にもわかるように努めて欲しい。 GIGAスクール構想の取組が始まる初年度は、専任の担当者が1名必要と思う。	答弁不要(意見を述べるにとどまる)。	ICTが苦手な教員については、教育総合センターで開催している情報教育講座を活用できるようにしていく。 GIGAスクール活用計画(仮)の策定についても、早期策定に努めていく。 GIGAスクール構想の取組について、保護者にチラシを配布し、ホームページにも掲載しているが、引続き市民に広く伝わるように情報発信に努めていく。 人的な増員は現在、要求中であるが、引続き人的な増員要求に努めていく。	未済	GIGAスクール活用計画の策定は、令和3年6月中に完了させる。